

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	管楽器基礎知識-A		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	管楽器基礎知識-A		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	10回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
管楽器の修理と販売で必要になる管楽器知識の基礎的内容について学ぶ。					
到達目標					
管楽器に関する基礎的な知識の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～2回目	音の呼び名と表記: 代表的な音名と表記法、幹音、派生音 音名と階名: 音名と階名の違い、使い分け 調の呼び名と表記: 代表的な調の呼び名と表記法 楽器の調性と移調楽器: 実音と記譜音の理解 楽器の分類: 管楽器、その他の楽器の分類法、発音体の理解 音程を変化させる仕組み: 自然倍音列、開管振動、閉管振動、有効管長の理解				
【前期】 3～4回目	金属素材: 楽器に使われる金属素材の理解 木材・天然素材: 楽器に使われる木材、天然素材の理解 樹脂素材: 楽器に使われる樹脂素材の理解 接着剤: 楽器製造、修理に使われる接着剤の理解				
【前期】 5～6回目	管楽器史: 管楽器の起源、変化、現在に至るまでの歴史				
【前期】 7～8回目	楽器各部名称、楽器の取り扱い方法				
【前期】 9～10回目	管楽器の構造: 構造の概念、ボア形状、キメカニズム、バルブ、各種パーツなどの理解				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	「カラー図鑑 楽器の歴史」河出書房新社、講義ごとにテキスト配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	木管楽器修理概論Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	木管楽器修理概論Ⅰ		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	16回(32単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
楽器ごと、修理内容ごとの点検法、メンテナンス法、修理手順、重点ポイントを学ぶ。					
到達目標					
木管楽器修理の方法論、構造と対処法の理解、及びどんな状況でも修理対応ができる基礎力の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～2回目	フルート/クラリネット 取扱い、分解組立				
【前期】 3回目	フルート/クラリネット 掃除、オイルアップ				
【前期】 4回目	フルート タンポ調整1				
【前期】 5回目	クラリネット タンポ調整				
【前期】 6回目	キィコルク交換				
【前期】 7回目	フルート タンポ調整2				
【前期】 8回目	サククス 取扱い、分解組立、掃除、オイルアップ、タンポ交換				
【前期】 9回目	クラリネットジョイントコルク交換				
【前期】 10回目	サククス タンポ調整				
【後期】 11～12回目	木管楽器 連動				
【後期】 13～14回目	フルート 連動調整				
【後期】 15～16回目	クラリネット 連動調整				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	講義ごとにテキスト配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	金管楽器修理概論Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	金管楽器修理概論Ⅰ		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
楽器ごと、修理内容ごとの点検法、メンテナンス法、修理手順、重点ポイントを学ぶ。					
到達目標					
金管楽器修理の方法論、構造と対処法の理解、及びどんな状況でも修理対応ができる基礎力の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～2回目	トランペット/トロンボーン/ホルン 取扱い、掃除、メンテナンス				
【前期】 3～4回目	トロンボーン スライド掃除、調整、スライド停止帯フェルト交換				
【前期】 5～6回目	ホルン ロータリーバルブ分解組立、紐交換				
【前期】 7回目	ハンダ付け				
【前期】 8回目	トランペット ピストンバルブ調整、抜差管調整				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	講義ごとにテキスト配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	基礎工学概論		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	基礎工学概論		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15回(30単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
作業内容ごとに工具の扱い方、金属加工の作業方法、手順、重点ポイント、応用法を学ぶ。					
到達目標					
金属加工の方法論や、材質の特性などの理解および楽器修理や製造に必要な技術の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～2回目	工具解説(種類・用途)				
【前期】 3～4回目	切断:材料の形状による切断方法、ノコなど工具の使用方法 切削:切削手順と検査方法、ヤスリなど工具の使用方法				
【前期】 5～6回目	楽器用工具の製作方法				
【前期】 7～8回目	ケガキ:金属材料への作図方法、スケールなど工具の使用方法				
【前期】 9回目	作品製作方法				
【前期】 10回目	穴あけ:工具の使用方法、ボール盤作業方法				
【前期】 11回目	ろう接(ハンダ・銀ろう):溶接理論、バーナーなど工具の使用方法				
【後期】 12回目	ネジ製作:ネジの構造、タップの使用方法、ダイスの使用方法				
【後期】 13回目	作品製作方法				
【後期】 14～15回目	彫金基礎				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	講義ごとにテキスト配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	管楽器商品知識Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	管楽器商品知識Ⅰ		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15回(30単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース、ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
フルート・クラリネット・サックス・トランペット・アクセサリーの楽器・製品説明を学ぶ。					
到達目標					
楽器の特徴・メカニズム・システムから、メーカーごとの特徴や売りなど、販売・修理知識の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～3回目	フルート概要・製品解説				
【前期】 4～6回目	クラリネット概要・製品解説				
【後期】 7～10回目	サックス概要・製品解説				
【後期】 11～13回目	トランペット概要・製品解説				
【後期】 14回目	マウスピース概要・製品解説				
【後期】 15回目	リード概要・製品解説 リガチャー概要・製品解説				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	「管楽器価格一覧表」ミュージックトレード社、「カラー図鑑 楽器の歴史」河出書房新社、各メーカーカタログ、資料配布。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	管楽器業界知識Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	管楽器業界知識Ⅰ		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
管楽器業界の概要説明、就職活動に臨む準備、職業選択の考え方、履歴書や身だしなみ、面接の実践、業界の方の話を聞くセミナーを行う。					
到達目標					
管楽器業界の仕組みを知り、自身の進路を考え就職活動や就職後に実践できる知識を得る。					
授業計画・内容					
【前期】 1回目	管楽器業界説明：製造／卸／販売営業／リペアの仕事内容や企業について				
【前期】 2回目	就職活動準備：スケジュール・ハードとソフトの準備・企業研究				
【前期】 3回目	履歴書：履歴書の書き方・準備と注意点				
【前期】 4回目	業界セミナー1：リペアの職業解説				
【前期】 5回目	業界セミナー2：学校販売・営業の職業解説				
【前期】 6回目	職業選択の考え方				
【前期】 7回目	就職活動メイク・身だしなみ講座				
【前期】 8回目	面接実践				
評価方法	平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
備考	適宜資料配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	木管楽器リペアⅠ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	木管楽器リペアⅠ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	211回(422単位時間)	年間単位数	14単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
基礎的な作業の反復練習が中心。指定課題を指定期限内に提出することで、現場での納期と作業計画をシミュレーションさせる。					
到達目標					
フルート・クラリネット・サックスの修理方法の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～94回目 【後期】 95～211回目	フルート:分解組立・掃除・オイルアップ タンポ交換調整・バランス調整 (80回)				
	クラリネット:分解組立・掃除・オイルアップ タンポ交換調整・キィコルク交換・バランス調整 ジョイントコルク交換 (98回)				
	サックス:分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整 (19回)				
	選択課題:木管楽器調整から選択(14回)				
備考	楽器ごとの実習班に分かれた作業のため、履修楽器が順番に代わる。また、各楽器の基礎奏法の履修も含む。				
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	資料・テキストは木管楽器修理概論Ⅰ、金管楽器修理概論Ⅰと同様				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	金管楽器リペアⅠ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	金管楽器リペアⅠ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	105回(210単位時間)	年間単位数	7単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
基礎的な作業の反復練習が中心。指定課題を指定期限内に提出することで、現場での納期と作業計画をシミュレーションさせる。					
到達目標					
トランペット・トロンボーン・ホルンの修理方法の修得、及び金属加工技術の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～84回目 【後期】 85～105回目	トランペット:掃除・オイルアップ・ピストンバルブ調整 ハンダ付け (24回)				
	トロンボーン:スライド掃除・オイルアップ・停止帯フェルト交換 (2回)				
	サックス:分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整 (19回)				
	金属加工:工具取り扱い・ドライバー加工・バネ掛け製作・タンポヘラ製作 作品製作(作図、切断、切削、溶接などを含む)(66回)				
備考	楽器ごとの実習班に分かれた作業のため、履修楽器が順番に代わる。また、各楽器の基礎奏法の履修も含む。				
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	資料・テキストは木管楽器修理概論Ⅰ、金管楽器修理概論Ⅰ、基礎工学概論と同様				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	ウインドアンサンブルⅠa		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ウインドアンサンブルⅠa	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 38年 アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。				
授業概要					
吹奏楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	木管室内楽Ⅰa		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	木管室内楽Ⅰa	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 22年 ライブやコンサート出演のほか、劇伴、CM、ドラマ、アルバムレコーディング、コンサートサポートなどに参加。				
授業概要					
木管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	金管室内楽Ⅰa		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	金管室内楽Ⅰa	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 24年 ライブサポート、レコーディング、パーティ、テーマパーク、学校公演などさまざまな現場で活動中。				
授業概要					
金管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	ビッグバンドアンサンブルⅠa		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ビッグバンドアンサンブルⅠa	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 22年 学生時代より、ライブやTVでの仕事を始める。2006年メジャーデビュー。その後、アンサンブルやジャズ奏法のレッスンにも力を入れる。現在、トラック制作や、ナレーションの仕事にも携わっている。				
授業概要					
ビッグバンド楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	管楽器リペアⅠa		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	管楽器リペアⅠa	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
管楽器リペアの内容は原則として木管楽器リペア実習Ⅰ、及び金管楽器リペア実習Ⅰに準ずる。					
到達目標					
管楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	フルート:分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整・バランス調整 クラリネット:分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整・キィコルク交換・バランス調整・ジョイントコルク交換 サククス:分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整 トランペット:掃除・オイルアップ・ハンダ付け トロンボーン:スライド掃除・オイルアップ・停止帯フェルト交換 ホルン:ロータリー分解組立・掃除・オイルアップ・紐交換				
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	木管楽器修理概論Ⅰ、金管楽器修理概論Ⅰと同様				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	ウインドアンサンブルⅠb		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ウインドアンサンブルⅠb	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 38年 アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。				
授業概要					
吹奏楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	木管室内楽 I b		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	木管室内楽 I b	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 22年 ライブやコンサート出演のほか、劇伴、CM、ドラマ、アルバムレコーディング、コンサートサポートなどに参加。				
授業概要					
木管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	金管室内楽 I b		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	金管室内楽 I b	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 24年 ライブサポート、レコーディング、パーティ、テーマパーク、学校公演などさまざまな現場で活動中。				
授業概要					
金管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	ビッグバンドアンサンブルⅠb		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ビッグバンドアンサンブルⅠb	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験 22年 学生時代より、ライブやTVでの仕事を始める。2006年メジャーデビュー。その後、アンサンブルやジャズ奏法のレッスンにも力を入れる。現在、トラック制作や、ナレーションの仕事にも携わっている。				
授業概要					
ビッグバンド楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	ティップス、3D、別紙譜面を配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 管楽器リペア科

授業科目名	管楽器リペアⅠb		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	管楽器リペアⅠb	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
管楽器リペアの内容は原則として木管楽器リペア実習Ⅰ、及び金管楽器リペア実習Ⅰに準ずる。					
到達目標					
管楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	フルート:分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整・バランス調整 クラリネット:分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整・キィコルク交換・バランス調整・ジョイントコルク交換 サククス:分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整 トランペット:掃除・オイルアップ・ハンダ付け トロンボーン:スライド掃除・オイルアップ・停止帯フェルト交換 ホルン:ロータリー分解組立・掃除・オイルアップ・紐交換				
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	木管楽器修理概論Ⅰ、金管楽器修理概論Ⅰと同様				